

健康の友・10万人会議報告



4月21日の第1回10万人会議は118人の参加があり「地域の暮らしの中から、南医療生協に求められているもの」をテーマにグループ討議が活発に行われ、沢山の意見、アイデアが出されました。整理すると66の知恵に整理することが出来ました。

5月19日の第2回は、その中から「急性期医療と高齢者入所施設のあり方、介護老人保健施設の役割」のテーマに絞り、奥野事業所部長の「高齢者入所施設と介護老人保健施設」の学習報告とパネラー（長江南生協病院院長、病院相談連携室・福富さん、老健あんき・柴田さん、山口副理事長）より報告をもらい、その後全体で意見交換しました。

シンポでは「急性期医療を支えるために老健は大切」「退院調整の困難さとそのための受け皿必要性わかった。」「老健あんきの明るさ、良さがアピールされてよかった」などの声が寄せられました。全体の意見交換も「ジーンとくる話が多かった」「久々の出席。生協って色々なこと考えていてすごいな、頼もしくなり明るい気持ちになった」「介護の会の方の話が心に残りました」などの感想がありました。これまでの垣根を越え10万人の知恵や力を寄せ合って協同組合らしい施設とともに、生協ならではの地域力、介護力をつくっていききたいそんな思いを123人の参加者全体で確かめ合う「会議」となりました。

第3回10万人会議のご案内

- * 日時：6月16日（土）14：00～16：30
- * 場所：コープ健診フィットネスセンター3階会議室
- * テーマ：「高齢者の施設と住宅について」

